



# 第43回STORMジャパンオープン

10月7~10日  
ヤングファラオ

## 加藤祐哉が8年ぶりのタイトル奪取 女子はアマの向谷優那選手が優勝

昨年はコロナ禍で中止となり、今年も開催が危ぶまれたジャパンオープンだが、10月7日から4日間、長野・ヤングファラオを会場に、男子312名(アマ156名)、女子156名(アマ78名)が参加して盛大に開催された。男子は加藤祐哉(43期・株式会社スポーツ)が、2013年のJAPAN CUP以来のタイトルで両目を開けた。女子は上位5位までをアマチュアが占めるというプロにとっては厳しい戦いのなか、向谷優那選手(JBC)が優勝をさらった。(主催:(公社)日本プロボウリング協会 特別協賛:(株)ハイ・スポーツ)



▲優勝の向谷選手(左)と加藤

### 男子・波乱の展開

男子は6月の関西オープン以来4カ月ぶりのレギュラートーナメントとなった。予選(8G)、準々決勝(6G)、準決勝(6G)を経て上位8名を決勝ダブルエリミネーションに出したが、永久シードの20勝に王手をかけている川添英太が、予選23位から巻き返して1位通過、3ピン差の2位に平山陽一、前回大会覇者で連覇のかかる永野すばるが3位、今年デビューの土方捷が4位に続き、以下吉田文啓、山本勲、加藤祐哉、山下昌吾までが進んだ。



▲再決定戦9フレのスピリットに呆然の吉田「イメージ的に悪い投球ではなかったけど、優勝は遠いです」

222と圧倒した。

優勝決定戦は、吉田が勝負どころの6、8フレにスピリットでつまずき、加藤が224:165で制して再優勝決定戦に持ち込んだ。

再優勝決定戦は、スピリットでオープンのスタートとなった加藤に対し、「前のゲームの9、10フレは、ボールやラインを変えて試した」吉田が、ターキースタートで先行した。1マーク吉田がリードして迎えた9フレは、ともにスピリットだったが、③⑩をきっちりカバーの加藤に対し、吉田は④⑥の平行ピンで1本カバー。10フレ、パンチアウトを決めた加藤が、225:213で制して念願の2勝目を挙げた。

#### 加藤のコメント

決勝は1回戦で負けて敗者ゾーンに回ったけど、1回負ければ終わりという状況で、逆に開き直れてよかったのかも。再優勝決定戦は、1フレいきなり



▲連覇を逃した永野「決勝は加藤くんの方が合っていた。それより3回戦で守りに入った逆転負けが悔やまれる」

ドボンを食らったけど、本当に遅くなっているんだと、冷静に寄ることができた。ジャパンカップの優勝から8年かかったけど、本当にうれしい。(優勝ボール: pro-am PRIME)

### 女子・アマ勢が攻勢

女子はナショナルチームメンバーが大挙して出場したこともあって、予選から数多くのアマチュアが上位に名を連ねていた。プロには黄信号が点灯していたが、その懸念は的中、18歳の近藤菜帆選手を筆頭に、2位の向谷美咲選手、4位にその妹・向谷優那選手、6位で横山実美選手、8位で今井双葉選手と、決勝ダブルエリミネーション進出8名中5名をアマチュアが占めた。プロは3位で丹羽由香梨、5位で坂本かや、7位で中島瑞葵が進出したが、ともに1回戦で敗退、敗者ゾーンでも坂本と中島が1回戦、丹羽が2回戦で敗れ、全員が姿を消した。

勝者ゾーンの3回戦、近藤選手と横山選手の対戦は、最後の1投までもつれる激戦だったが、近藤選手が409:408と1ピン差で優勝決定戦進出を決めた。敗れた横山選手と3位決定戦で対戦したのは、敗者復活3回戦で姉妹対決を制した向谷優那選手。その対戦は、1フレを8本スペアの向谷選手が、



▲「手は震えていたけど、気持ちは冷静だった」と、庄巻のストライクラッシュで優勝の向谷選手



▲前回大会8位の近藤選手「そのリベンジをと思ったけど、ここまで残れてうれしい」



▲両手投げの横山選手「悔しいけど、来年プロテストを受けてプロでの優勝を目指します」

2フレからオールウエーの290を打って、191の横山選手を圧倒した。

優勝決定戦でも向谷選手の勢いは衰えず、1フレから6連発などで266。235を打った近藤選手を制して、優勝の行方は再決定戦に持ち込まれた。

近藤選手が1フレからフォースを持ってくれば、向谷選手は2フレからフィフスで逆転。近藤選手が7フレ、ビッグフォーでオープンとすると、向

谷選手も④⑥⑦と割れてオープン。勝負はもつれるかと思われたが、近藤選手は9フレ、またしてもビッグフォー。向谷選手が222:196で制して頂点に立った。

#### 向谷選手のコメント

(敗者復活3回戦で)お姉ちゃんとお戦いできたのがうれしかったし、しかも勝ててすごくうれしかった。外からのラインは好きなので、使っていなかったレーンでの3位決定戦からは自信を持って投げられた。でも優勝はまさかです。大学4年生なので、プロ入りも含め進路を考えます。(優勝ボール:STORM ストロングバイト・ツアー)

#### ●男子再優勝決定戦

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
加藤 祐哉	⑦ 2	38	58	77	97	127	155	175	195	225
吉田 文啓	30	59	79	98	117	137	165	184	193	213

#### ●男子優勝決定戦

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
吉田 文啓	20	40	70	96	114	122	141	150	158	165
加藤 祐哉	28	47	56	86	115	135	155	184	204	224

#### ●女子再優勝決定戦

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
向谷 優那	8	20	50	80	110	139	159	176	184	203	222
近藤 菜帆	30	60	89	109	129	146	153	170	177	196	

#### ●女子優勝決定戦

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
近藤 菜帆	30	59	79	99	128	148	167	186	206	235
向谷 優那	30	60	90	120	149	169	187	207	237	266